

(別添 2)

新日中友好21世紀委員会第1回会合
鳩山総理祝辞

- 新日中友好21世紀委員会の新メンバーとしての第1回会合の開催に当たり、心からお祝い申し上げます。第1回会合において、委員の間で相互理解を深めていただくとともに、日中間の中長期的な協力や交流を強化するという観点から、活発な議論が行われることを期待しています。
- 日中両国は、アジア及び世界の平和と安定のために共に責任を負う国として、「戦略的互惠関係」の構築を進めていますが、大切なことは、その中身を具体化し、充実させていくことです。日中は、互いを認めつつ相手を尊重し、一致できる点や協力できる点を積極的に見いだしていくことが必要です。特に、日中関係をアジア全体、ひいては国際社会の文脈で位置づけ、具体的な協力を推進していくことが必要です。
- 西室座長及び唐家璇座長を始めとする幅広い専門分野の有識者である新日中友好21世紀委員会の委員の皆さんが、日中関係の将来について、様々な角度から柔軟に議論が行われることを期待します。そして、たくさんの素晴らしいアイデアを大胆に提供していただき、官民力を合わせて、日中関係を推進していく原動力となることを祈念しています。第1回会合の成功を心よりお祈りします。

平成22年2月7日
日本国内閣総理大臣
鳩山 由紀夫

第5期日中友好21世紀委員会第1回会合に対する
温家宝総理のメッセージ
(仮訳)

今世紀の初めの10年間、日中関係はいくつかの曲折といざこざを経験し、戦略的互惠関係という目標に向けて重要な一歩を踏み出した。この成果は簡単に得られたものではなく、この流れは止められない。錯綜し複雑な国際情勢と幾多のチャレンジに直面し、双方は大所高所に立ち、相互信頼につとめ、各領域における対話と協力を断固として推進しなければならない。これは両国それぞれの発展とアジアの成長に有利であるだけでなく、世界の政治、経済の局面に対し、積極的かつ深い影響を及ぼす。

日中友好21世紀委員会は日中間の架け橋であるだけでなく、政府と社会とを結びつけるきづなであり、独特の優位性と代替不可能な作用を持っている。現在、日中関係は発展の重要な時期にあり、第5期委員会の使命は光栄であり、任務は重く道のりは遠い。双方の委員が誠意をもって協力し、英知を結集し、よいアイデアを出し、実務的なことを行い、日中の世代々の友好と共同の繁栄のため新しい貢献をされることを希望する。第1回会合の成功をお祈りする。

2009年2月7日

中華人民共和国国务院総理

温家宝